

奉納「生糸」
上岡和江様



発行

東松山市箭弓町2-5-14

箭弓稲荷神社々務所

電話 0493(22)2104

FAX 0493(22)3706

振替 東京 1-38518

<http://yakyu-inari.jp/>



暑中御見舞い申し上げます

箭弓稲荷神社

宮司

前原利雄

責任役員総代

江野祐一郎

同

竹間寛市

同

野口荘二

同

嶋本正雄

総代一同

職員一同

コロナ鎮静の祈り

宮司 前 原 利 雄

新型コロナウイルスが世界中を混乱に陥れ、中国各地で感染者が確認されてから折しも、中国の春節（旧正月）の連休と重なり、多くの中国人が国外へ出掛けたため、その勢いを増し東アジアのみならず、欧米にも波及したと言われております。

また近年、経済などのグローバル化に伴い、多くの人々が世界中を歩き来るようになったことも影響し、感染拡大は世界各地に広がり、今や世界全体で約七百万人が感染し、死者は四十二万人を超えてしまいました（六月十五日時点）。世界各国で感染拡大防止のため、都市封鎖や学

校・施設・工場・飲食店などの休業、人々の外出自粛要請等、空前絶後の厳しい措置が講じられ、我が国内においても、全国道府県に対し緊急事態宣言が発出され、同様の自粛措置がとられ、国民の安全や健康を守り、感染拡大による医療崩壊や社会、経済への深刻なる打撃を食い止めるべく、官民挙げて取り組むこととなり、その結果、多くの国民が楽しみにしていた東京オリンピック・パラリンピックの一年延期、春夏甲子園の高校野球をはじめ各種のスポーツ大会、全国各地の祭りや伝統文化、芸能までもが中止となつてしまいました。

当社でも、緊急事態宣言発出以降、参拝者への感染拡大防止策として、手水舎の使用禁止、諸祈願の予約参拝での受付、御朱印紙のみの授与など可能な限りの対応をとらせて頂きました。また、当社恒例の牡丹祭につきましても祭典は神職のみにて奉仕し、神賑奉納行事や境内露店等すべて自粛・中止し、園内では、来園者に対し感染防止へのご協力を呼び掛け静かに觀賞して頂きました。人々の生活様式までも一変させてしまうほどのコロナ禍が猛威をふるう中にあつても、自然の植物は季節が巡るたびに毎年変わることなく可憐な花を咲かせ、我々の心を慰

めてくれます。その他、團十郎稲荷社春祭、夏越大祓式も、例年の茅の輪は雑踏による密集・密接を避け設置せず、規模を縮小し肅々と斎行致しました。このような対応は、当社のみならず全国の神社においても同様でありました。

神祭りの要は、祓、祈願、感謝の三つであります。例えば、京都の祇園祭は、その昔京の都をはじめ、日本各地に疫病が流行したとき、当時の諸国六十六ヶ国に因み、六十六本の鉾を立てて、祇園の神を祀り災厄の除去と安寧を祈つたことにはじまります。また、鎮花祭（ちんかさい、はなしずめのまつり）も、春の花の散る（陰暦三月）頃に疫病神も分散して疫病を流行らせると考えられ、それを鎮めるために

行われる祭りであります。本県内各地においても、昔からチフスや赤痢、コレラなど病魔の退散を願う祭りや民俗行事が行われてきました。現代のような文明や医療また疫学上も大きな進歩を遂げる世の中にありながら、迷信と思われるかもしれませんが、人々の不安や不信を掻き立てる心のダメージを払拭するために、やはり神様に祈りを捧げることこそ肝要だと信じます。

当社は、毎日朝拝にて全職員参列のもと、コロナ感染症鎮静の祈願を厳修しております。我々宗教に携わる者として、日々の祈りを通してこの事態の一日も早い終息と、世界の人々が笑顔を取り戻し日常の生活を営むことが出来る日まで只管奉仕続けてまいります。



学び続けたい日本の絹文化

東京農工大学繊維技術研究会員

上岡 和江

私は小金井市にある東京農工大学の科学博物館で、所蔵の繊維に関する機械を動態展示するボランティアをしています。世界遺産になった富岡製糸場を見学された方もいらっしゃるでしょうが、あの建物の中には片倉製糸が一九八七年に操業を停止した時点の、当時最先端であった日産社製の自動繰糸機が保存されています。しかしそれらの機械は透明のビニールに覆われ、既に朽ちていて動かすことはできないように見えます。ビデオなどを使って操業当時の様子を解説しても、あまり興味を持って帰る見学者も少なくないかもしれません。ところが農工大では、同じ機械を一台所蔵していて、整備して動かしているのです。繭から糸が引き出されていく様子を間近で見たり、生糸や真綿などに直接手で触れてみたりすることで、とても興味を持つ

てもらえます。「絹糸と生糸ってどう違うの?」「繭から糸口をどうやって見つけるの?」等々の質問が出ることもあります。私はエンジニアではないので、機械の整備はできませんが、見学者の相手をこれからも続けようと思っています。

また、自宅でも座繰り器で繭から生糸を挽いて、精練や草木染め、そして布に織るまで全ての工程を一人で行うと、試みています。先生はいないので、手探りで試行錯誤しながらシヨールなどを作っています。そのような過程で出来る生糸を奉納してみようと思いついたのですが、かつて地域で盛んだった養蚕というものを懐かしむ、話の種にもなれば嬉しいです。

新年度に向けて沢山あった計画は、急にコロナの影響ですべてキャンセルされてしまいました。日本中・世界中の

人々が同じ状況にあるのですから文句も言えません。そこで急に出来た時間を利用して、今年は久しぶりに天蚕を飼うことにしました。クヌギの葉を食べる野生の蚕で、大きな緑色の繭を作ります。二ヶ月程、毎日世話をして、機会があったらまた成果をご報告させて下さい。このような状況ですが、どうか皆様も心身共に健やかに過ごしいただいて、終息の喜びを分かち合える日を待つことに致しましょう。



令和二年下半期の祭事

九月

九月二十日(日) 例大祭宵宮祭

九月二十一日(月) 例大祭

十月

十月三日(土) 團十郎稲荷祭

十一月

十一月中 七五三

十一月二十三日(月) 新嘗祭

十二月

十二月三十一日(木) 大祓式

十二月三十一日(木) 除夜祭

毎月一日、十五日 月次祭

※当社行事についてのご質問、また各種祈願お申し込みにつきましては、社務所までお問い合わせ下さい。

まつりだより

一月 一日 元旦祭
 一月 七日 古神札焚上祭
 一月二十七日 箭弓天満宮祭
 二月 三日 節分祭
 二月 十七日 祈年祭



古神札焚上祭

初午祭

「初午祭(はつうまい)」とは、稲荷神社の総本宮、伏見稲荷大社の稲荷大神が和銅四年(七一年)二月最初の午の日、京都伏見の稲荷山に御鎮座されたことにちなみます。当社では、旧暦一月最初の午の日(本年は三月四日)に執り行いました。

前日の三月三日には、火の災禍がないことを願う伝統行



節分祭

三月 三日 火伏神事
 三月 四日 初午祭
 四月十七日より 牡丹祭
 五月二十三日 團十郎稲荷祭
 六月 三十日 夏越大祓式

事の「火伏神事」が行われ、氏子、消防関係者や、一般参拝者らが参列する中、火難除けをお祈り致しました。



火伏神事

夏越大祓式

六月三十日、半年間のけがれを祓い清める「夏越大祓式」を執行致しました。例年は、境内に大きな茅の輪が置かれ、多くの人々が「茅の輪くぐり」をして疫病退散を祈願しますが、本年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、茅の輪の設置は見合わせとなりました。茅の輪に代わるものとして、一日も早い終息と皆さまの健康を願った「悪疫除茅の輪守」を当社職員が奉製し、頒布致しました。

悪疫除茅の輪守



第三十回 箭弓天満宮祭 書道展

勉学の向上を願う箭弓天満宮祭(一月二十六日)に合わせて第三十回書道展を、一月二十三日から二十六日まで開催しました。多くの書生の力作が出品される中、このたび箭弓天満宮祭には荻原日菜子さん、箭弓稲荷神社宮司賞には小野澤綾乃さん・河合新翔さんの兩名が受賞され、他二十名の書生が梅花賞・牡丹賞に入選となりました。今後大神様の御加護を賜りまして、益々勉学に精進されますようご祈念申し上げます。



宮司賞 河合 新翔さん



宮司賞 小野澤 綾乃さん



箭弓天満宮賞 荻原 日菜子さん

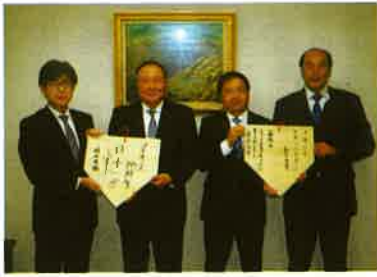


埼玉西武ライオンズ 必勝祈願

一月十六日、埼玉西武ライオンズの居郷肇球団社長、飯田光男常務取締役球団本部長、岡田茂穂取締役、渡辺久信球団本部ゼネラルマネージャーが必勝祈願でお越しになりました。

翌二十七日には辻監督が参拝にお越しになりました。皆さまには、拜殿で玉串を奉納の後、野球絵馬に今シーズンの目標を書きいただきました。書いていただいた野球絵馬は社殿内に掲示しておりますので、ご覧になりたい方はお声がけください。

昨年は絵馬に「連覇」とお書きいただき、目出度くりーグ二連覇を達成されました。埼玉西武ライオンズの辻監督を始め選手の皆さまには、今年の絵馬にお書きいただいた「三連覇」「日本一」の目標に向かってご活躍されますことをお祈り申しあげるとともに、球団スタッフ皆さまのご健康ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



◎ 月次祭に参加しませんか
毎月十五日の午前十時より執り行う月次祭(祭事の都合により変更することもあります)には、どなたでもご参列戴き、お参りすることが出来ます。
社殿にてお一人様ずつ玉串を奉りご拝礼戴き、ご神酒を二献お受け戴きます。そして神職に続き、境内に鎮座する天神社、元宮社、宇迦之魂社をそれぞれ巡拝致します。
(雨天の場合は社殿にて遙拝となります)
どうぞ多数の方のお参りをお待ちしております。

正月学生奉仕者を募集します

正月の神社奉仕希望者を、八月一日より募集します。

- ・ 学生巫女 若干名
- ・ 男子学生 二十名

(応募者多数の場合は書類選考をさせていただきます。合格者のみ十二月に奉仕体験並び説明会を行います) 希望者は社務所までお問い合わせください。

第三十一回 箭弓天満宮祭 書道展のおさそい

◎ 天満宮祭
期日 令和三年一月二十三日(土) 午前十時
場所 箭弓天満宮(箭弓稲荷神社ぼたん園内)

◎ 書道展
期日 令和三年一月二十一日～一月二十四日
午前九時～午後四時まで
どなた様もご自由にご参観いただけます。

場 所 箭弓稲荷神社記念館
参加資格 幼年・小中学生(住所は問いません)
応 募 一人一点(参加用紙にご記入のうえ、作品と一緒に提出してください)

規 格 半紙 二文字
募集期間 令和二年九月一日～十一月末日までに
箭弓稲荷神社社務所へ提出

表彰式 令和三年一月二十三日(土) 箭弓天満宮祭終了後
賞品等 優秀作品には、賞状・トロフィーを差し上げます。
全員に参加賞を差し上げます。

課 題
表彰式 令和三年一月二十三日(土) 箭弓天満宮祭終了後
賞品等 優秀作品には、賞状・トロフィーを差し上げます。
全員に参加賞を差し上げます。

中 学	小 六	小 五	小 四
牡 丹	稲 穂	梅 花	鳥 居
小 三	小 二	小 一	幼 年
正 月	え ま	そ ら	う し

参加費 一人 五百円
※中学生は行書とし他は楷書とします。
※お問い合わせは、箭弓稲荷神社社務所まで

☎0493(22)2104番

比企地域の 養蚕・糸繭文化と信仰

江戸時代より各地で盛んに行われてきた養蚕。

ここ比企地域でも養蚕と共に糸繭業が盛んに行われてきた。

明治三十五年刊の「埼玉縣營業便覧」によれば、松山町（東松山）には二十二軒、小川町には三十五軒の糸繭・織物業に携わる商人の記録が伝わっている。

また、東松山の蚕糸業と言え、日本シルク株式会社松山工場は有名で、現在その工場跡地は「シルビア」と称される商業施設として多くの市民に利用され、養蚕絹文化の名残を今に伝えている。

当社における養蚕信仰は、「箭弓稲荷神社御由緒略記」によると、御祭神は「養蚕倍盛の守護神」として記されている。

昭和の初め頃には既に、毎年五月の巳の日に「巳の晩祈禱」

と称し、その年の蚕の出来が良くなるように、地元をはじめ南埼玉・北埼玉・児玉・大里から多くの信者が集まり、午後八時より「蚕祈禱」が行われ、その晩は神社の建物にお籠りをし、翌朝の午の日に祈禱札を受けて帰っていったと伝わっている。

「巳の晩」の謂われは、「巳（蛇）は蚕を食い荒らす鼠を退治する動物であり、県内でも蚕室に蛇の絵馬を掛ける習いがあることから、蚕にとっては守護神であり、養蚕農家にとってはご利益の象徴なのである。比企郡小川町腰越の笠山神社「猫札」と同様の意味である。

令和二年の現在も「養蚕倍盛」札が社頭で授与され、例年四月下旬に養蚕農家である滑川町羽尾の飯塚金夫・和子夫妻（日本シルク（株）千疋優良養蚕家）が来社し、蚕室の守護と養蚕の豊作を願う受けていく。しかし、諸事情により本年

を以って養蚕を終了するとの事であった。比企地域における養蚕文化の伝統の灯が絶えることは誠に残念でならない。

しかしながら、この古くから伝わる養蚕文化と信仰を後世に伝えようと、秩父神社（秩父市）、高麗神社（日高市）、川越氷川神社（川越市）が中心となって「さいたま絹文化研究会」を平成二十五年に発足。様々な活動と年四回の会報を発行し幅広く養蚕文化を今に伝えていく。そして、此度の会報より「比企の養蚕文化と信仰」と題し、寄稿する事が決まった。興味ある方は是非ご覧頂きたい。（詳細希望の方は、当社社務所まで）



日本シルク株式会社 優良養蚕家（トントン会の会員）の標

〔箭弓稲荷神社参拝旅行のご案内〕

市川團十郎所縁の公園と北口本宮浅間神社（国重文）参拝の旅

- ◎期 日：令和2年10月23日(金) 日帰り
- ◎会 費：15,000円 ◎募集人数：40名
(定員になり次第締切となりますので、お早目に申込願います)
- ◎申込締切：申込書に会費を添えて8月31日(月)までにお申込ください。
- ◆行程 ※集合場所・出発時間などの詳細につきましては後日連絡致します。

集合地（箭弓稲荷神社）＝ 東松山IC ＝ 談合坂SA ＝ 甲府南IC ＝
市川三郷：歌舞伎文化公園 ＝ 精進湖 ＝ 河口湖荘（昼食）＝
北口本宮富士浅間神社（自由参拝）＝ ふじさんミュージアム ＝
忍野八海 ＝ 富士吉田西桂SIC ＝ 狭山PA ＝ 東松山IC ＝ 箭弓稲荷神社

◆お申し込み・お問い合わせは 箭弓稲荷神社 TEL 0493-22-2104

御奉納

- ◆高嶺奉納 松浦 麗子殿
- ◆高嶺奉納 市原 圭子殿
- ◆米三〇kg 小河 文子殿
- ◆米六〇kg 町田 吾郎殿
- ◆菓子 (有富久屋) 平田 匠殿
- ◆餅 代表 関根 猛殿
- ◆生糸 上岡 和江殿
- ◆西洋シヤクナゲ シルビア 三鉢
- ◆ジュニアサツフオー一鉢
- ◆ゴールドントーチー一鉢
- ◆東松山市観光ガイド有志一同
- ◆菓子 高橋 眞一殿
- ◆バナナ一箱 坂本 晃子殿
- ◆牡丹
- 花競 一鉢
- 銅雲 四鉢
- 黒鳥 二鉢
- プリンセス 一鉢
- 大瀧 信人殿
- 晃子殿
- ◆メロン一箱 高橋 みさ枝殿
- ◆元宮社同居奉納 深沢建設殿



命名

自・令和元年八月十五日
至・令和二年六月 五日生
(順不同・敬称略)

- 作山 裕宣 長女 友梨
- 繁田 貴博 三女 遥
- 岡崎 匡史 長女 千賀子
- 小嶋 裕樹 長女 花奈
- 田辺 拓也 次女 結麻
- 鶴原 裕貴 長男 叶逢
- 小林 大佑 次男 駿斗
- 井藤浩次郎 長女 綾音
- 篠田 基喜 長男 樹
- 小室 浩介 長男 陽跳
- 三浦 幸輔 長男 稜陽
- 吉見町
- 東松山市
- 坂戸市
- 吉見町
- 東松山市
- 結麻
- 叶逢
- 川越市
- 東松山市
- 嵐山町
- 東松山市
- 熊谷市

健やかなご成長を心より
お祈り申し上げます。

神楽殿改修のご報告

現在の神楽殿は、県社昇格記念として大正十一年に建立しました。
祭囃子や神楽舞が奉奏され、祭典に花を添えてきた神楽殿も百年近い歳月と共に風雨に晒され劣化が進んできたことから今回塗装工事を行いました。緑日や神賑行事をご覧にお越しの際は新しく朱塗された神楽殿にもご注目ください。

玉垣改修工事のお知らせ

今秋より外玉垣の工事を行います。工事中は近隣の皆さまにご不便をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

また玉垣に掲げる幟旗のご寄進を、神札授与所において受け付けております。それぞれご芳名を揮毫して掲揚させていただきます。

◆幟旗(一旗) 三、〇〇〇円



総代退任

小林 通章 殿

【総代】は令和元年十二月二十九日に退任されました。

小林氏は平成十五年八月一日に、当社総代に就任以来、十六年間に活躍をいただいております。長きに亘り赤心より神社の護持運営にご尽瘁いただきましたことに、衷心より感謝申し上げます。

今後ともご健勝にて、尚一層のご活躍をお祈り致します。

訃報

内田 昌 治 殿

【総代】は令和元年十二月三十日逝去されました(享年七十八歳)

内田氏は平成九年八月一日に、当社総代に就任以来、二十二年間ご活躍をいただいております。氏は常に敬神の至誠をつらぬかれ、当社の護持発展にご尽瘁賜りました。

ここに生前のご功労に謝し、謹んでご冥福をお祈り致します。

利根川 泰 殿

【総代】は令和二年四月十四日逝去されました(享年七十四歳)

利根川氏は平成二十一年八月一日に、当社総代に就任以来十年間に活躍をいただいております。氏は常に敬神の至誠をつらぬかれ、当社の護持発展にご尽瘁賜りました。

新職員の紹介

権補宜



四月よりご

縁があり、ご奉仕させていただいております。神社を取り巻く環境も日々変化していくなかで、地域の方々や歴史を継承しつつも、新たな時代に対応すべく、日々知恵を絞り、身体を動かし、皆さまが気持ちよくご参拝できるよう努めて参りますのでよろしくお願ひ致します。

巫女

森本 麻楠



この度ご縁

がありまして四月よりご奉仕させていただきます。これまでも四年間助勤奉仕させていただいておりますが、これからは職員としてご奉仕できることに感謝し、これまでに明くるく社務に努めて参ります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

祭事のご案内

十月三日(土)
時間未定

秋季團十郎稲荷祭 観月演奏会



秋季團十郎稲荷祭並びに観月演奏会を参集殿前特設舞台にて行います。
毎年十月の十五夜に近い土曜日に行われ、比企雅楽会による雅楽演奏、箭弓稲荷神社巫女による神楽舞などのほか、舞踊や芸能関係の団体による演目が奉奏されます。無料の演奏会となっておりますので、お誘いあわせの上、お気軽にご参拝ください。

七五三祭

当社では九月から十一月を七五三期間として、お子様方のご参拝をお待ちしております。家族揃ってのお詣りは、一生の思い出となり、心豊かに成長されていくことでしょう。

七五三祈願料

※要予約

お一人 五、〇〇〇円

七、〇〇〇円

一〇、〇〇〇円以上

◆御神札・千歳飴・記念品等をお渡し致します。

社殿内混雑緩和のため、祈願ご希望の方は必ず事前にご予約をお願い致します。ご予約のない方の祈願はお待ちいただく場合やお日にちを変更していただく場合がございます。また社殿内の参列はお祝いのお子様とご両親様に限らせていただきます。

團十郎稲荷祭限定御朱印 頒布のお知らせ

今秋の團十郎稲荷祭より「團十郎稲荷祭限定御朱印」の頒布を開始致します。朱印紙でのお渡しとなり、一休五〇〇円のお納めです。
今後も春・秋の團十郎稲荷祭にて頒布の予定です。
また江戸時代の浮世絵師・歌川国貞による『松山やきう稲荷の図』の絵を表紙に施した御朱印帳を頒布致します。お詣りの際に、ぜひお受けください。

新しいお守りの紹介

「病氣平癒守」

当社にちなんだ「白狐」「牡丹」と共に、病氣回復の願いを込めた「鶴」が刺繍されたお守りになります。病氣や怪我からの健やかな回復を願ってお持ちください。



病氣平癒守
1,000円

電〆初穂料

改定のお知らせ

正月を迎えるにあたり、今年も十二月十五日より社頭にて頒布を行います。諸般の事情により初穂料を一部改定することと致しました。皆さまには何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。尚、初穂料につきましては下記の通りになります。

「皆中絵馬」

「弓」と「矢」を持った狐と弓道の的を描き、ご自身の願い事を射止める「心願成就」の絵馬です。また五角形の形をしていることから、合格祈願の願いも込められておりますので、受験生の方も受けください。



皆中絵馬
700円

電〆一組 (二、四〇〇円)

御幣束 三束

祓 一束

紙垂 一組

神宮大麻 一束

神社大麻 一束

御幣束 一組 (二〇〇円)

祓 一組 (二〇〇円)

紙垂 一組 (二〇〇円)

神宮大麻 一組 (二、〇〇〇円)

神社大麻 一組 (八〇〇円)

編集後記

◆ここに「やきゅうさま」第六十号をお届け致します。
◆この度は上岡和江様より玉稿を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。
◆昨年末に発生した新型コロナウイルス感染症により、当社でも多くの祭典行事が中止、縮小となりました。ご参拝の皆さまには感染症予防対策にご協力いただき誠にありがとうございます。平穏な日常が戻るよう一日も早い終息を職員一同願っております。